



研究キーワード グループ・ダイナミックス, エネルギーコミュニケーション, 地域脱炭素, 環境教育, 環境配慮行動

# 甲田 紫乃

准教授

KODA, Shino

所属…環境学部 環境学科 大学院 環境経営研究科 環境学専攻

■専門分野 エネルギー科学, グループ・ダイナミックス, 環境社会学・社会心理学  
現在の研究テーマ

- ・地域脱炭素・エネルギー自立に関する社会的受容と合意形成
- ・環境教育・エネルギー教育と地域づくり
- ・サステイナブルツーリズムと地域活性化

## ■著書

- ・「地域の未来を変える空き家活用―鹿野のまちづくり20年の挑戦」(分担執筆), 2021年, ナカニシヤ出版
- ・「SDGsを考える―歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会―」(共編著), 2020年, ナカニシヤ出版
- ・「こちら公立鳥取環境大学環境学部です!」(分担執筆), 2019年, 今井出版
- ・「21世紀国際社会を考える―多層的な世界を読み解く38章―」(分担執筆), 2017年, 旬報社

## ■論文

- ・Koda, S. (2016). Horizontal Relationship and Environmental Communication: A Case Study on Collaborative Activities between SPES and Local Residents in Austria, The International Journal of Environmental Sustainability, Volume 12, Issue 2, pp.17-31.
- ・甲田紫乃, 「コンビニエンスストアにおける資源浪費の構造―参与観察に基づく短報―」, 2012年, 集団力学, 第 29 巻, pp. 87-103.
- ・Koda, S. (2012). Theoretical Approach to the Collaborative Environmental Activities: Household Waste Disposal towards Environmentally Friendly Daily Life, International Journal of Humanities and Social Science, vol.2, No.6, pp.104-110.

## ■研究発表の抜粋

- ・Koda, S. (2021). Forest Environmental Education Contributing to Community Revitalization: A Collaborative Practice Towards the SDGs Based on An Activity Theoretical Approach, Going Green EcoDesign 2021, December 1-3, 2021, Tokyo, Japan. 3
- ・Persuading People to Become Greener Through Collaborative Activities, Going Green CARE INNOVATION 2018, Vienna, Austria, 2018

## ■所属学会

日本グループ・ダイナミックス学会, 日本エネルギー学会, 土木学会, 日本環境教育学会, 環境社会学会

## ■資格

日本語教育能力検定試験合格

■取得学位 博士(エネルギー科学)(京都大学)

## ■略歴

2018年4月 公立鳥取環境大学環境学部環境学科講師

2018年7月 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻講師

2023年4月～ 公立鳥取環境大学環境学部環境学科/大学院環境経営研究科環境学専攻 准教授

■主な担当科目 環境政策論, 大気汚染防止, 環境アセスメント概論, 環境教育論, 衛生工学特論

URL <http://jp.shinokoda.com/>  
E-mail [s-koda@kankyo-u.ac.jp](mailto:s-koda@kankyo-u.ac.jp)

## ＜研究内容の紹介・授業の特徴等＞

地域脱炭素や環境配慮行動を, 技術だけでなく人とコミュニティの関係から研究しています。授業では身近な事例を用い, 環境問題を制度・技術・生活のつながり, 関係性から考えます。